

自然エネルギーと社会的合意 国際フォーラム 2016

開催概要

日時：2016年11月22日（火）13:30開会（13:10開場）
場所：東京ウィメンズプラザ ホール（定員：200名程度）
主催：持続可能な社会と自然エネルギー研究会
（事務局：環境エネルギー政策研究所&自然エネルギー財団）
協力：日本自然保護協会、日本野鳥の会、WWFジャパン、地熱情報研究所、
バイオマス産業社会ネットワーク他

プログラム

13:30 開会、開催趣旨・イントロダクション

古屋将太（環境エネルギー政策研究所研究員）
分山達也（自然エネルギー財団上級研究員）

【基調講演】自然エネルギーの社会的応答

「英国での自然エネルギーと社会的応答」

パトリック・ディバイン・ライト（エグゼター大学教授、英国）

「ドイツでの自然エネルギーと自然保護」

ミハエル・クリーガー（自然保護とエネルギー転換のための
専門センター（KNE）、ドイツ）

【フォーラム】自然エネルギーを巡る空間・土地利用の

リスクコミュニケーションとガバナンス

飯田哲也（環境エネルギー政策研究所所長）
武本俊彦（環境エネルギー政策研究所シニアフェロー）
浦達也（日本野鳥の会）
パトリック・ディバイン・ライト
ミハエル・クリーガー ほか

16:30 まとめ、閉会

お申し込み・お問い合わせ

＜お申し込み方法＞

参加の際には、事前申込みをお願いします（11/18締め切り）。
<https://goo.gl/forms/CQjKCoi5EDzeTxU92> にてお名前、ご所属、
ご連絡先をご記入いただくか、裏面にあるFAX送信票をご利用の上、
03-5942-8938までお送りください。

＜お問い合わせ先＞

認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所（担当：古屋、道満）
電話番号：03-5942-8937
メールフォーム：<https://www.isep.or.jp/about/contact>

世界各地で自然エネルギーの普及が加速する一方で、導入をめぐるさまざまな社会的課題が浮上しつつあります。例えば、生物、生態系、景観等への影響に対する懸念、地域の農林漁業や産業との共生、資源利用の権利や土地利用計画との整合性など、ステークホルダーによる合意形成と国や自治体による制度・政策形成の両面で丁寧な対応が必要となります。このワークショップでは、このような自然エネルギーの社会的受容について、国際的な研究動向や取り組みを共有しつつ、多様なステークホルダーによる対話を通じて、より望ましい自然エネルギー普及のあり方を探ります。

＜海外ゲスト紹介＞



パトリック・ディバイン・ライト
Patrick Devine-Wright
(エグゼター大学人文地理学教授)

ESRC研究プログラムで、NIMBY枠組みの限界を超えた多様な統合的な研究を提起し、社会心理学のアプローチで社会的合意の研究領域を切り拓いた。専門は、人文地理学、環境心理学など。近著に Renewable Energy and the Public (2014, Routledge)



ミハエル・クリーガー
Michael Krieger
(自然保護とエネルギー転換の
ための専門センター(KNE))

自然保護とエネルギー転換のための専門センター（KNE）は2016年1月に設立された機関で、議論の場を提供するとともに紛争を回避することによって、自然保護を重視した自然エネルギーの拡大を支援することを目的としている。

＜交通アクセス＞



渋谷駅 宮益坂口から徒歩12分
東京メトロ 表参道駅 B2出口から徒歩7分

FAX 送信票

必要事項（氏名、ご所属、電話番号、E-mail 等）を記載の上、環境エネルギー政策研究所宛（Fax 番号：03-5942-8938）までお送りください。（締切：11/18）

なお、今回いただいた個人情報は参加者の受付確認のみに使用します。

ふりがな 氏名	
ご所属	
電話番号	
E-mail	
お連れ様	なし ・ あり（氏名： ）
参加区分	一般参加 ・ マスコミ
本シンポジウムを 知ったきっかけ	チラシ ・ 関連団体のメルマガ ・ 関連団体のホームページ 知人からの紹介 ・ その他（ ）
備考	（受付の都合もあるので、遅れて参加する場合についても、 ここにご記入ください。）